

ちの地区150年の 歴史映像まとめる

コミュニティ
運営協議会

永明小永明中に寄贈



ちの地区（永明）の150年の歩みを映像にまとめ、永明小学校永明中学校に寄贈したちの地区コミュニティ運営協議会の小池義一会長（土橋新一さん提供）

茅野市のちの地区コミュニティ運営協議会（小池義一会長）は、ちの地区（永明）の150年の歩みをまとめた映像を制作した。永明小学校、永明中学校の校舎新築を記念し、校歌を奏でる50弁の高級オルゴールを製作してその音色を収めた。新校舎を中心とした茅野駅周辺の空撮映像、明治から令和までの地区内の出来事を盛り込んだ。7日に同じ校舎にある両校にDVD、ブルーレイディスクの2枚組とオルゴールを寄贈した。

映像は全部で1時間。5章で構成している。1章はドローン（無人機）で撮影した同地区上空や校舎内の空撮映像を収録し、オルゴールの音色をBGMに用いた。2章はオルゴールの美しい音色に焦点

校歌を奏でるオルゴールも製作

を当てた構成。高級オルゴールらしさが生かせる編曲を行った。3章は明治、昭和の出来事を振り返る内容で1905（明治38）年の茅野駅開通、大正、昭和時代初期の永明村の様子、58（昭和33）年の茅野市制施行などを写真で振り返る。4章は平成、令和時代の学校や地域の活動について御柱祭、小学校の植樹祭、中学校の永明寺山森林整備などの様子を紹介している。5章は年表資料を基にしたエンドロール。

永明中学校の矢崎知広校長は「映像から制作に関わった皆さんの母校愛を感じる。その思いも含めて受け継ぐ」と述べた。

寄贈後、小池会長は「永明小学校永明中学校の新校舎が完成したタイミングで改めて子どもたちに地元の歴史について知ってもらい、関心を寄せるきっかけにできれば」と語った。（野村知秀）